

## 一 学 会 録 事 一

### 1. 日本藻類学会第13回大会

1989年3月30日・31日の両日、東京女子体育大学2号館において、第13回大会を開催した。大会会長は福島博氏（東女体大）で、参加者は153名であった。講演は50題の一般講演（うち展示5題）と、L. J. Goff 女史（米国カリフォルニア大）による特別講演“The Origins and Evolution of Red Algal Parasites”があった。

大会第1日目に同会場において総会を開催し、引続き同大学6号館食堂で約2時間にわたって懇親会を開催した。懇親会は吉武佐紀子（日女衛生短大）・大野正夫（高知大海洋生物センター）両氏の司会、印東弘玄氏（東教大名誉教授）の乾杯の音頭で始まった。宴を飾る料理は、そのすべてが福島氏と関係諸氏による心のこもった手作りで、終始和やかな雰囲気の中、盛会裡に終了した。また、大会第2日目の昼休みには、同大学7号館第3体育館にて、同大学生による新体操のエキシビジョンが約1時間にわたって行われた。その華麗なる演技に、しばし目を奪われ、心和やむ一時であった。東京女子体育大学の教員諸氏および学生諸君、ならびに横浜市立大学の小林艶子女史および学生諸君には大会運営にあたっていろいろご協力頂き、厚く御礼申し上げる。

#### 懇親会参加者

秋山 優、鯨坂哲郎、新井章吾、有賀祐勝、飯田高明、飯間雅文、石井明子、石川依久子、石田健一郎、石田勇人、猪口真実、市村輝宣、出井雅彦、井上 勲、印東弘玄、上杉伸子、榎本幸人、江原友子、大沢賢司、大谷修司、大塚春江、大野正夫、大葉英雄、大森長朗、岡崎恵視、奥田武雄、長船哲斎、C. A. オロスコ、甲斐貴子、笠井文絵、加崎英男、片山舒康、勝山志乃、川口栄男、川嶋昭二、北原節子、木村憲司、北山太樹、倉島 彰、栗原美香、黒田充恵、桑野和可、小亀一弘、小林艶子、小林 弘、L. Goff, A. Coleman, 今野敏徳、斎藤 譲、坂井厚子、坂西芳彦、坂元忠明、坂本照正、佐藤恵美、佐藤博雄、清水 晃、申 宗岩、杉田美成子、杉原実奈子、与座功子、高橋永治、竹下俊治、立沢秀高、田中次郎、田村美砂子、千原光雄、張 晓明、筒井 功、寺尾公子、寺脇利信、中井末松、中嶋 泰、中山真理、長島秀行、中田由和、南雲 保、名畑進一、西脇優子、野崎久義、能登谷正浩、野呂忠秀、長谷栄二、濱田 仁

馬場将輔、林 至宏、林田文郎、原 慶明、半田信司、坂東忠司、福島 悟、福島 博、福永公平、藤田大介、古角正晴、星野 淳、堀 輝三、堀口健雄、本田大輔、前川行幸、増田道夫、松本正喜、真部永地、真山茂樹、丸山 晃、三浦昭雄、御園生拓、峰 一朗、宮村新一、D.M.Y. Yano、山岸高旺、山本秀一、山本裕子、横浜康継、吉崎 誠、吉武佐紀子、吉田忠生、渡辺 信、渡辺里香、綿貫和彦、和田直也、安井 肇

### 2. 編集委員会・評議員会

第13回大会の前日、3月29日に東京女子体育大学2号館5階会議室において編集委員会（14:00～15:30）および評議員会（15:30～19:30）を開催し、1989年度総会に提出する報告事項・議題などの審議を行った。報告事項・議題については総会の項を参照されたい。編集委員会出席者：有賀祐勝編集委員長、能登谷正浩編集幹事、田中次郎、堀 輝三編集実行委員、石川依久子、榎本幸人、奥田武男、鬼頭 鈞、吉田忠生の各編集委員、小林 弘会長および片山舒康、真山茂樹各幹事。

評議員会出席者：小林 弘会長、有賀祐勝（編集委員長を兼任）、石川依久子、大森長朗、小河久朗、奥田武男、原 慶明、増田道夫、三浦昭雄、渡辺 信の各評議員、片山舒康、真山茂樹各幹事。

### 3. 1989年度総会

1989年3月30日（大会第1日目）の特別講演終了後、東京女子体育大学2号館225教室において総会を開催した。小林 弘会長の挨拶に続いて、加崎英男氏を議長に選出して議事に入った。

#### I. 報告事項

##### 1. 庶務関係

(1)会員状況（1989年3月現在）：名誉会員3名、普通会員540名、学生会員45名、団体会員42名、賛助会員11名、外国会員86名、購読93件、寄贈・交換27件。(2)昭和63年度文部省科学研究費刊行助成金「研究成果公開促進費」交付額は930千円で、責任頁は300頁である。なお、昭和64年度（平成元年度）分として補助要求額1,897千円、責任頁300頁を申請した。(3)第13回大会後（4月1日）にワークショップ（藻類分類基礎講座、講師：高橋永治氏、加崎英男氏）を東京女子体育大学で実施する。(4)故黒木宗尚氏の遺志により、黒木

家から山田基金へ40万円の寄付があった。

## 2. 会計関係

(1)12月31日現在の昭和63年度の会費納入率は、普通会员87%、学生会員87%、賛助会員79%、団体会員100%、外国会員50%である。(2)昭和63年度一般会計と同山田幸男博士記念事業基金特別会計の決算報告は、1989年3月3日、瀬戸良三(神戸女学院大学)、清水晃(奈良女子大学)の両会計幹事により適正であると承認された。

## 3. 編集関係

(1)昭和63年度に発行した第36巻1～4号は、総頁数341頁、掲載論文数26編、短報10編、総説2編、広告14頁であった。頁当りの平均経費は、12,576円であった。掲載論文の超過頁は32頁、カラー頁は2頁であった。(2)今年度から会誌の印刷を中西印刷㈱に依頼した。1989年3月10日に発行した第37巻1号は、掲載論文数9編、短報2編、ニュース3編、訃報、第13回大会講演要旨などを含めて88頁であった。(3)1989年3月20日現在の投稿論文数は25編で、内10編が第37巻2号に掲載予定である。

## 4. その他

昭和63年度秋季シンポジウムを日本植物学会大会前日の昭和63年10月12日午後、岡山市の山陽学園短期大学で開催した。

## II. 審議事項

### 1. 庶務関係

以下のことが審議され、承認された。(1)本年度秋季シンポジウムを日本植物学会第54回大会の前日(9月26日)に、小河久朗氏(東北大学)を世話人として仙台市で開催する。(2)日本藻類学会第14回大会は1990年3月29日・30日に坪由宏氏(神戸大学)を世話人として神戸大学教養部で開催する。また、1991年の第15回大会は、沖縄(琉球大学)に開催をお引受け願う。(3)1989-1990年度の会計監事を岡崎恵視(東京学芸大学)、加藤季夫(国学院大学)の両氏に委嘱する。(4)1990年度より学会事務委託先を(財)学会事務センターから中西印刷㈱に変更する。(5)会費・別刷代・バックナンバー代のカード支払制を来年度から導入する。(6)日本藻類学会会則第8条中、外国会員の会費8,500円を7,000円に改訂する。なお、これの施行は来年度以降とする。(7)山田幸男博士記念事業基金の運用については、昭和62年度総会(第11回大会)の決定にしたがって、学会賞を設ける。持ち回り評議員会、臨時評議員会で具体的内容をつめる。(8)寄付金の受け入れ規定を作成する。

## 2. 会計関係

(1)昭和63年度一般会計決算報告及び同監査報告は表-1のとおり承認された。

(2)昭和63年度山田幸男博士記念事業基金特別会計の決算報告及び同監査報告は表-2のとおり承認された。(3)1989年度一般会計予算案は表-3のように可決承認された。

## 3. 編集関係

以下のことが審議され、承認された。(1)論文などの開始頁を奇数頁に統一する。(2)大会講演要旨は次回から1頁あたり4題とし、専用の原稿用紙に書いてもらいオフセット印刷する。参加申し込み者には、プログラムをゲラの段階でコピーして配布する。(3)投稿された論文などの著作権は、日本藻類学会に帰属する。これの取扱は、編集委員長が責任をもって対処する。(4)和文及び応用分野の論文の投稿を歓迎する。

## 4. その他

(1)韓国藻類学会李会長から、将来日韓合同大会を開催したいとの申し入れがあった。執行部で具体化を検討する。(2)今大会の世話人福島博氏から大会の運営方法などの問題点を改善してほしい旨の発言があった。執行部で、改善策を検討する。

## 4. 日本藻類学会藻類分類基礎講座(第4回ワークショップ)報告

1989年4月1日(土)日本藻類学会第13回大会の翌日、東京女子体育大学4号館生物実習室にて、藻類分類基礎講座を開催した。高橋永治氏と加崎英男氏を講師に、下記の20名が参加した。午前高橋氏による黄金藻の分類の講義がスライドを使って行われ、午後は加崎氏による、車軸藻の講義および実体顕微鏡による観察が行われた。なお、本藻類分類基礎講座の内容と詳細は笠井文絵女史(国立公害研)の参加記(次号掲載予定)を参照されたい。

参加者：大沢啓志(横浜市大)、大塚春江(神奈川公衛試)、笠井文絵(国立公害研)、栗原美香(横浜市大)、小林艶子(横浜市大)、小林弘(東京理研)、坂本忠明(横浜市大)、高村典子(国立公害研)、根本隆夫(鹿児島大)、野呂忠秀(鹿児島大)、橋本達夫、坂東忠司(京都教大)、福島博(東京女体大)、真山茂樹(東学大)、丸山晃(東大応微研)、渡辺信(富山大)、宮地重遠(東大応微研)、濱田仁(富山医大)、本田大輔(筑波大)、和田直也(横浜市大)

表-1 昭和63年度 一般会計決算 (63.1.1-63.12.31)

日本藻類学会

収 入 の 部 (円)		支 出 の 部 (円)	
会 費	4,784,331	印 刷 費	5,187,800
普通会員	3,561,000	印刷代	4,443,370
学生会員	220,000	別刷代	744,430
外国会員	420,931	編 集 費	436,230
団体会員	302,400	英文校閲料	100,000
賛助会員	280,000	編集補助費	50,000
販 売	676,500	通信連絡費	286,230
定期購読	513,000	会誌発送費	247,930
バックナンバー	163,500	庶 務 費	1,123,148
別 刷 代	763,822	事務用品費	4,890
超 過 頁 負 担 金	348,000	会 議 費	43,380
広 告 代	170,000	通信・印刷費	272,398
利 子	6,046	事務整理補助費	16,000
プ ロ グ ラ ム 代	36,000	諸 雑 費	562,480
雑 収 入	172,948	幹事旅費補助	24,000
刊 行 助 成 金	930,000	幹 事 手 当	200,000
		学会センター業務委託費	785,872
		第12回大会補助	100,000
		秋季シンポジウム会場費	50,000
小 計	7,887,647	小 計	7,930,980
前年度繰越金	4,457,390	次年度繰越金	4,414,057
合 計	12,345,037	合 計	12,345,037

## 貸借対照表

借 方 (円)	貸 方 (円)		
普通預金 (第一勧銀)	433,668	未 払 金	32,100
普通預金 (山梨中央銀)	1,900,000	前 受 会 費	1,723,000
学会センター預け金	2,865,508	前期繰越金	4,457,390
郵便振替	50,290	当期繰越金	-43,333
小口現金	17,781	次期繰越金	4,414,057
未 収 金	801,910		
仮 払 い 金	100,000		
合 計	6,169,157	合 計	6,169,157

1989年3月3日

本会計決算報告は適正である事を認める。

1989年3月3日

日本藻類学会会長 梅 崎 勇 ㊟

日本藻類学会会計幹事 鯨 坂 哲 郎 ㊟

日本藻類学会会計監事 瀬 戸 良 三 ㊟

日本藻類学会会計監事 清 水 晃 ㊟

表-2 昭和63年度山田幸男博士記念事業特別基金会計決算 (63. 1. 1-63.12.31)

日本藻類学会

収 入 の 部 (円)		支 出 の 部 (円)	
山田幸男博士追悼号 (4冊)	28,000		
学会出版物売上金			
┌ コンブ論文集 (3冊)	3,000		
└ 日米セミナー (2冊)	8,000		
寄 付	400,000		
利 子	56,312		0
小 計	495,312	小 計	0
前年度繰越金	1,466,522	次年度繰越金	1,961,834
合 計	1,961,834	合 計	1,961,834

## 貸借対照表

借 方 (円)		貸 方 (円)	
定期預金 (住友銀行)	1,900,000	前期繰越金	1,466,522
普通預金 (住友銀行)	61,834	当期繰越金	495,312
		次期繰越金	1,961,834
合 計	1,961,834	合 計	1,961,834

1989年3月3日

日本藻類学会会長 梅 崎 勇 ㊤

日本藻類学会会計幹事 鯨 坂 哲 郎 ㊤

本会計決算報告は適正であることを認める。

1989年3月3日

日本藻類学会会計監事 瀬 戸 良 三 ㊤

日本藻類学会会計監事 清 水 晃 ㊤

表-3 1989年度 一般会計予算

日本藻類学会

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
会費	4,631,500	印刷費	5,200,000
普通会員 (486)	3,402,000	印刷代	4,500,000
学生会員 (40)	200,000	別刷代	700,000
外国会員 (51)	433,500	編集費	407,000
団体会員 (33)	396,000	英文校閲料	100,000
賛助会員 (10)	200,000	編集補助費	50,000
販売	361,040	通信連絡費	257,000
定期購読 (63)	311,040	会誌発送費	257,000
バックナンバー	50,000	庶務費	617,000
別刷代	700,000	事務用品費	40,000
超過頁負担金	200,000	会議費	50,000
広告代	150,000	通信・印刷費	155,000
利子	5,000	事務整理補助費	60,000
プログラム代	36,000	諸雑費	100,000
雑収入	30,000	幹事旅費補助	52,000
刊行助成金	930,000	幹事手当	160,000
		学会センター業務委託費	850,000
		第12回大会補助	120,000
		秋季シンポジウム会場費	50,000
小計	7,043,540	小計	7,501,000
前年度繰越金	4,414,057	予備費	3,956,597
合計	11,457,597	合計	11,457,597

表-4 日本藻類学会第13回大会会計報告 日本藻類学会大会準備委員会

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
大会参加費		プログラム代	26,260
予約 (68名)	161,500	懇親会費	248,847
当日 (59名)	140,000	通信費	8,273
懇親会費		アルバイト代・謝金	208,303
予約 (62名)	155,000	雑費	188,833
当日 (33名)	82,500	学会返還金	484
学会補助金	120,000		
講座受講料 (11名)	22,000		
合計	681,000	合計	618,000

1989年4月5日

第13回大会会計幹事 福島 博 ㊦

— 会 員 移 動 —  
新 人 会

住 所 変 更

訃 報

本会会員 阪井與志雄氏は去る1989年4月14日逝去されました。  
謹んで哀悼の意を表します。 日本藻類学会

退 会

佐々木 潤 (北海道), 須田彰一郎 (茨城県), 北島 親 (栃木県), 窪田英夫 (長野県), 原田 昇 (長野県),  
佐々木正人 (東京都), 篠村知子 (東京都), 島松秀典 (東京都), 下田正雄 (東京都), 山本海苔研究所 (東京都),  
加藤光秋 (埼玉県), 倉掛武雄 (愛知県), 今津達夫 (兵庫県)